

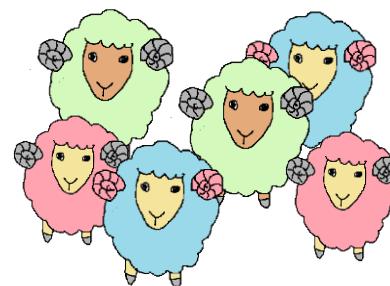
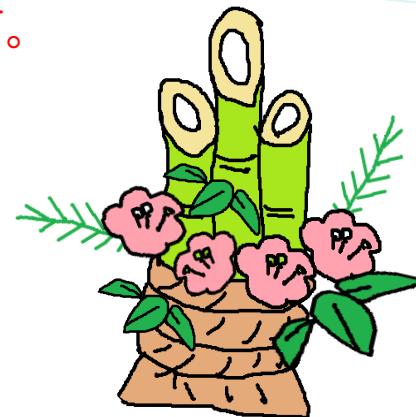


# ものづくり広報

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、当市の産業政策行政につきまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

本年も、ものづくり現場における課題を解決することで、市内ものづくり製造企業様の経営基盤が強化され、活力をもって操業をいただけるよう、本年もさまざまな対策を思案し展開していく所存です。よろしくお願い申し上げます。



さて、今年は「羊年」です。羊はトラブルを嫌う反面チームワークや団結を好むといわれます。企業の皆様が自社でのチームワークを発揮し、自社経営の方針に沿って確実に歩を進められることを祈念いたしまして、年始にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

鈴鹿市ものづくり産業支援センター

## ◆若社長紹介 株式会社一十 代表取締役社長 伊藤 久信 氏 (40歳)



三日市南3丁目1-1 Tel: 059-382-5161 Fax: 059-382-6707

自動車部品中心のプレスおよび溶接加工、金型、治工具の設計製作、試作品製造

社長は学生のころから、祖父・伯父が立ち上げた会社にアルバイトとして現場に入っていました。使い走り、ものづくりの真似ごとを経験していたこともあり、自然な流れで当社に入ることになりました。

入社早々から設計に興味湧き、CAD/CAMのとりことなり、夢中で実務にのめり込みました。しかし一体いつまで実務ばかりをやるのかと暗に自分の将来の立場を先代社長から諭されました。まだ先のことと漠然と構えていたところ、突然社長交代の印籠を渡されたのが昨年9月のことであると、淡々と話が始められました。

「しばらくは先代の路線を引き継ぎ守るのが必至だ。しかしわが社が生き残り、一十という名を次の時代につなぐためには、どこかで舵を切らなければならない」とキッパリと言います。

そのため ① 基盤である技能集団を技術戦闘員にブラッシュアップが必要。また、今の客先を大切にすることは当然だが ② 技術を売りに営業力強化で新たな客先を開拓することが大切であると語ります。しかし自分は若すぎるし経験も浅い。それを補いパワーを発揮するには従業員の助けと先達の知恵が一番だと共創のスタンスを掲げます。

第一印象はクールでドライな若社長に映りましたが、会社が成長し続けるには一人では何もできない。「人間力だ！チームワークだ！組織の総合力に叶うものはない！」と冷静沈着に話す姿に、すでに社長としてのポテンシャルの高さを見た思いがしました。

(1)

## ◆「三次元造形技術がもたらすデジタルものづくり」のご案内

ものづくり基盤技術に優位性をもつ中部地域において、デジタルものづくり手法を採用するにあたっての活用可能性を探るとともに、戦略産業を創出する上での採用先進事例と期待について講演、議論を行います。

■日時 平成27年2月23日(月) 13時15分～17時

■会場 メルパルクNAGOYA 2階 瑞雲(西)

■主催 一般財団法人 機械振興協会

■共催 経済産業省 中部経済産業局

■定員 200人 ■参加費 無料

■内容

○基調講演(13時30分～14時30分) 「ものづくり現場におけるデジタル化の技術動向～産業用3Dプリンタの開発の方向性～」

○特別講演(14時30分～15時10分) 「3Dプリンタとその市場動向」

○パネルディスカッション(15時20分～17時) 「三次元造形技術がもたらすデジタルものづくり(仮)」

○懇親会(17時20分～19時)

問い合わせ先: 中部経済産業局 地域経済部 産業技術・人材・情報政策課  
〒460-8510 愛知県名古屋市中区三の丸二丁目五番二号  
Tel: 052-951-2774 Fax: 052-950-1764 E-mail: renkei@sangaku2015.com  
URL: http://www.sangaku2015.com/entry.html

## ◆高度部材イノベーションセンター(AMIC) 評価計測機器の紹介

「公益財団法人三重県産業支援センター 高度部材イノベーションセンター(AMIC)」は、北勢地域のポテンシャルを活かして、大企業と中小企業、企業と大学・研究機関などの多様な連携による研究開発を促進する拠点として平成20年3月にオープンしました。

イノベーションセンターでは、企業の研究開発や技術課題の解決に向けてさまざまな事業を行っていますが、その一つとして8基の評価計測機器を有料で開放しています。

○腐食促進試験機: 塩水噴霧、乾燥、湿潤などをサイクルさせて金属製品などの耐食性を評価 (390円/時間)

○恒温恒湿器(振動試験装置付): 製品の振動特性や振動による耐久性を評価。恒温恒湿器により環境条件の設定も可能 (1,070円/時間)

○加速寿命試験装置: 電子・電気部品、材料、精密機器などの耐湿性の寿命を評価 (140円/時間)

○耐候試験機: 太陽光・温度・湿度・降雨を制御して、これらの影響を促進的に試験する装置 (660円/時間)

○冷熱衝撃試験装置: 電子部品などに衝撃的な熱ストレスを与え、冷熱衝撃による耐久性を評価 (540円/時間)

○恒温恒湿器: 高精度の温湿度環境をつくり、さまざまな材料や製品の温湿度の影響を評価 (230円/時間)

○強度試験機: 各種材料・部品の引張強さ、圧縮強さ、曲げ強度を測定する試験機 (80円/時間)

○レーザー顕微鏡: マイクロ・ナノレベルの表面観察を行う顕微鏡 (120円/時間)



▲昨年のマネジメント研修での評価計測機器の見学の様子

問い合わせ先: 高度部材イノベーションセンター  
〒510-0851 四日市市塩浜町1-30 Tel: 059-349-2205 Fax: 059-349-2206

E-mail: amic@miesc.or.jp URL: http://www.miesc.or.jp/amic/

【発行】 鈴鹿市 産業振興部産業政策課ものづくり産業支援センター TEL: 059-382-7011 FAX: 059-384-0868

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号(別館第三) E-mail: sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp

# 平成26年度人材育成「集合研修」の成果

◆平成26年度の集合研修には、ベーシック研修10社25人、リーダー研修10社18人、マネジメント研修7社8人で合計51人の参加をいただきました。  
今まで実施した研修の成果を活かし、修了生は各企業で活躍しています。

## 1. 集合研修の紹介

コースと参加人員	対象	研修期間	内容
ベーシック研修 (25人)	新入社員および 入社後間もない方	土曜日×3日間	職場の仲間と仕事を進める ために必要な知識と知恵
リーダー研修 (18人)	現場のリーダー およびリーダーを めざす方	土曜日×7日間と 金曜日×1日の8日間	仕事の質を高めるために必要 な手法の講義と実践
マネジメント研修 (8人)	社長および社長の 右腕となる方	土曜日×3日間と 火曜日×1日の4日間	守りから攻め、現状を認識 した上で日常管理、方針管理 の目標設定について学ぶ

### ※集合研修の特徴

- ①座学で学んだことを、グループ活動で身に付ける。
- ②リーダー研修では、市内の中小企業に製造現場を提供いただき、現場の改善活動を  
実践で体験し習得していただきます。
- ③マネジメント研修では、当センターの連携機関の見学や近隣の他社企業の現場見学  
を通じ、自社の強み・弱みや位置づけを知り、今後の経営に活かしていただきます。
- ④リーダー研修とマネジメント研修では、受講者全員に個人テーマを設定し、自社で  
の実行にあたっては、会社ごとに担当講師がフォロー支援いたします。

### <研修風景>



## 2. 平成27年度の集合研修開催予定

4月のベーシック研修を皮切りに、リーダー研修を5月～7月、マネジメント研修を  
10月に実施予定です。広報すずか・ものづくり広報でご確認の上お申し込みください。  
また、集合研修に参加いただけない場合は、直接企業様に出向き研修する「出前研修」  
を用意しています。ものづくり産業支援センターへご相談ください。

参考：センター化以降の累計実績 ※リーダー研修の（ ）内データは動く支援室からの実績を参考表示しています。

コース	開催回数	参加企業と参加人数	研修実績から言えること
ベーシック研修	5回	32社/120人	①集合研修参加企業50社中 リピーター企業29社（約6割） ②ベーシック研修からリーダー研修 へと人材育成ステップとして活 用されている企業が増加
リーダー研修	5回 (10回)	40社/127人 (51社/210人)	
マネジメント研修	2回	12社/15人	

## ◆支援活動事例紹介

企業名：株式会社美建 テーマ：新入社員教育(出前研修) 支援担当者：櫻本アドバイザー  
業務概要：ロボットを使った産業用生産設備の設計製作据付メンテナンス

1. ポイント 自社による自立型研修の実施に向けてのチャレンジ
2. 目的 働く心構えを習得する（製造業の原点・自社の存在価値・理念、社是、方針）
3. 目標 厳しさの中でも創造する喜びを見出し、自分磨きで潜在能力を発見する。
4. 要件 ① 職場のリーダーが新人教育を行う  
② 新人とリーダーを抱える部門長を巻き込む  
③ トップの方針と総務の戦術を一元化する  
④ 仕事の面白さを体現できる「ものづくり実技」をプログラムに入れる
5. 施策 ① リーダーの役割を明確化  
・プログラムを立案する ・テキストを完成させる ・自ら講義する  
・PDCAを回す（総務、部門長は裏方に徹すること）  
② 活動時間は延べ25時間（実技一部自己啓発活動を含む）  
③ 実技テーマ考案：段ボールだけで動くクレーン車を製作し、重量物を指定場所に移動させることをテーマに、ものづくりのプロセスを体現し完成度を評価する。  
④ 研修成果発表：トップをはじめ部門長全員参加のもと、新人とリーダーの混成チームにより模造紙、作品実演をセットで研修計画の予実と成果を報告



▲支援活動の様子

### 社長コメント

新人とリーダーが連携しここまでやれるのかと思えるほど、従来の個人の発想から一歩踏み出してチャレンジしてくれました。久し振りに部下の可能性に感激しました。今回の事例はものづくりに必要な創造性を養い鍛えることにつながりますので、今後も自社の文化、風土にしていきたいです。

## ◆「鈴鹿モータースポーツ祭」開催のご案内

鈴鹿市が平成16年にモータースポーツ都市宣言をしてから、今年で10年目を迎えたことから、広くモータースポーツの魅力に触れていただくため、鈴鹿市主催の「鈴鹿モータースポーツ祭」を開催します。

■日 時 平成27年2月22日（日）10時～17時

■場 所 鈴鹿市文化会館

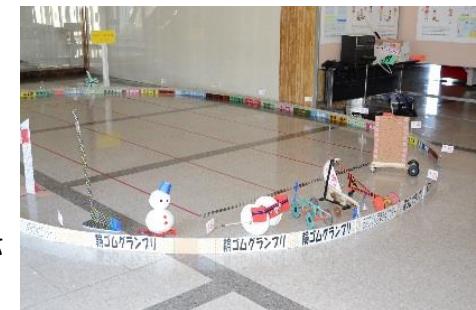
■内 容

○さつきプラザ（ものづくり部門）

- ・鈴鹿市二輪ものづくり企業展示（10時～17時）  
市内モーターサイクルのパーツ製造企業の製品展示
- ・第2回すずか輪ゴムグランプリ（10時～14時）  
輪ゴムの動力のみを利用した自作車により、走行距離を競います。

○その他の主なイベント

- ・基調講演「最高峰レースF1への挑戦」
- ・トークショー「Power of SUZUKA」
- ・鈴鹿と・き・め・きモータースポーツ大使委嘱式
- ・レーシングマシン公道デモ走行
- ・二輪・四輪パーツ市
- ・タイヤ交換体験
- ・Honda最高峰フォーミュラカーRA273の展示



▲昨年のすずか輪ゴム  
グランプリ開催の様子